

POINT

- ✓ be動詞には主語と後ろの語句を結ぶ役割があります。
- ✓ 否定文を作るときは、be動詞の後ろにnotを入れます。
- ✓ 疑問文を作るときは、be動詞を主語の前に持ってきます。

答えるときはYesまたはNoで答えますが、後ろに続く主語は、答える人の立場や、疑問文で使われている主語によって変わります。

1 ()内から適する語を選んで○で囲みなさい。(1問1点)

肯定文	① This (am ・ are ・ is) Sana.	こちらはサナです。
	② That (am ・ are ・ is) Mr. Jones.	あちらはジョーンズさんです。
	③ He (am ・ are ・ is) a vet.	彼は獣医です。
	④ She (am ・ are ・ is) thirteen years old.	彼女は13歳です。
	⑤ It (am ・ are ・ is) sunny.	(天気について) 晴れです。
疑問文	⑥ (Am ・ Are ・ Is) this your cap?	これはあなたの帽子ですか？
	⑦ — Yes, (this ・ it) is.	(⑥に対して) はい、そうです。
	⑧ — No, (this ・ it) is not.	(⑥に対して) いいえ、違います。
否定文	⑨ That (is ・ is not) my dog.	あれはぼくの犬ではありません。
	⑩ She (is ・ is not) from New Zealand.	彼女はニュージーランド出身ではありません。

2 ()に適する語を書きなさい。1つの()内に入る語数は1つです。(1問1点)

① () () an apple.	これはりんごです。
② () () my favorite character.	あれは私の好きなキャラクターです。
③ () () my grandfather.	彼はぼくの祖父です。
④ () () a math teacher.	彼女は数学の先生です。
⑤ () () rainy.	(天気について) 雨です。
⑥ () () fifteen?	彼は15歳ですか？
⑦ — Yes, () () . / No, () () () .	(⑥に対して) はい、そうです。 / いいえ、違います。
⑧ () () your sister?	こちらはあなたのお姉さんですか？
⑨ Shun () () my boyfriend.	シュンは私の彼氏ではありません。
⑩ () () () a snack for dogs.	これは犬用のおやつではありません。

